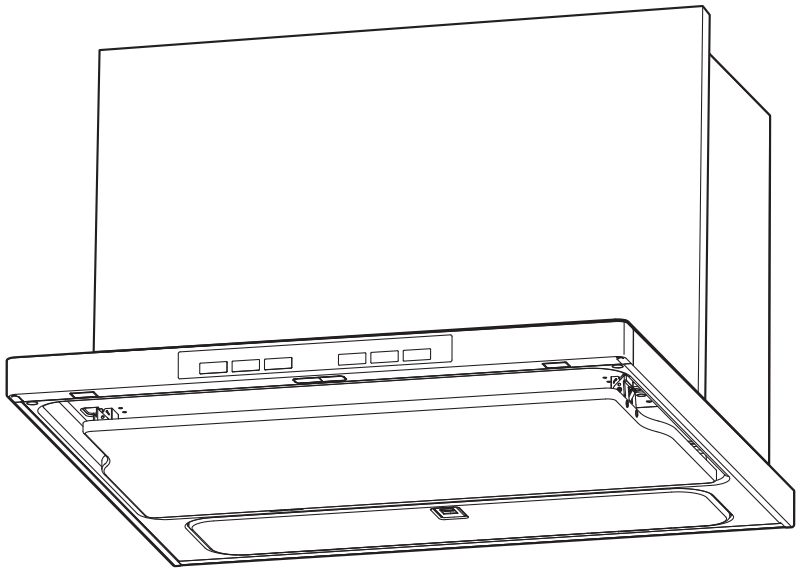
施工業者様用

Panasonic

工事説明書

フラット形レンジフード

品番 FY-60DWD3
FY-75DWD3
FY-90DWD3



工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。**特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。**

・工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

もくじ

安全上のご注意 ……2
設置上のお願い ……3
各部の名前 ……4
外形寸法図 ……5
付属品・別売品 ……6
取り付け前に……7～8
施工方法 ……9～19
設置条件の初期設定 ……裏表紙

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠警告

分解禁止

仕様変更・改造は絶対にしない
火災・感電・けがの原因となります。

禁止

指定穴以外へねじを固定しない
内部の配線を傷つけ、感電するおそれがあります。

指定以外のねじを使用しない
内部の配線を傷つけ、感電するおそれがあります。

電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、引っ張ったりしない）
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

アース線接続

D種接地工事をおこなう
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

❗

排気工事をおこなう場合､建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って、取付設置する
火災など重大な事故の原因となります。

交流100ボルトで使用する
火災・感電の原因となります。

❗

レンジフード本体と排気ダクトは、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆う
火災などの原因となります。
詳しくは所轄の消防署（庁）に問い合わせてください。

メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造造営物に金属製排気ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付ける
漏電した場合、火災の原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源コードはアダプター、排気ダクトと離して固定する
火災など重大な事故の原因となります。詳しくは所轄の消防署（庁）に問い合わせてください。

給気電動シャッター連動用コード、電動シャッター連動用コードはアダプター、排気ダクトと離して固定する
火災など重大な事故の原因となります。詳しくは所轄の消防署（庁）に問い合わせてください。

⚠注意

❗

本体は、十分強度のあるところに水平にしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する
落下により、けがをするおそれがあります。

取り付け工事の際は、厚手の手袋を使用する
板金部品などの切り口や本体の突起、角などでけがをすることがあります。

取り付け金具やねじは付属のものを使用する
落下により、けがをするおそれがあります。

❗

配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って、確実におこなう
誤った配線工事は、漏電、感電や火災のおそれがあります。

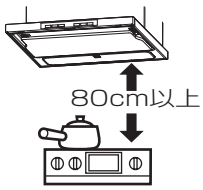
本体は指定の方法で確実に取り付ける
落下により、けがをするおそれがあります。

部品は確実に取り付ける
落下により、けがをするおそれがあります。

設置上のお願い

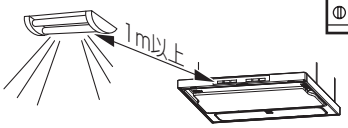
取り付け場所について

■ガス調理機器、電気調理機器の真上、80cm以上の位置に取り付けてください。
火災予防条例ではフィルター（油捕集板）の下端がガス調理機器、電気調理機器の真上80cm以上必要です。（取り付け位置が高すぎると吸い込みが悪くなります）



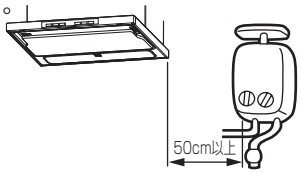
■直射日光があたるなど極端に明るく照らされる場所には取り付けないでください。
調理機器側からの赤外線の信号受信が妨げられ、動作しないことがあります。

■照明器具と受信部を近づけすぎないでください。
照明器具が受信部から1m以内に設置された場合、換気連動機能が正常に動作しないことがあります。



■本体や排気ダクトなどが他の電気機器と接触しないように取り付けてください。
照明などの電気機器のノイズにより、リモコン操作や調理機器との連動ができない場合があります。

■ガス湯沸かし器は側方に離して取り付けてください。
高温により故障の原因となります。



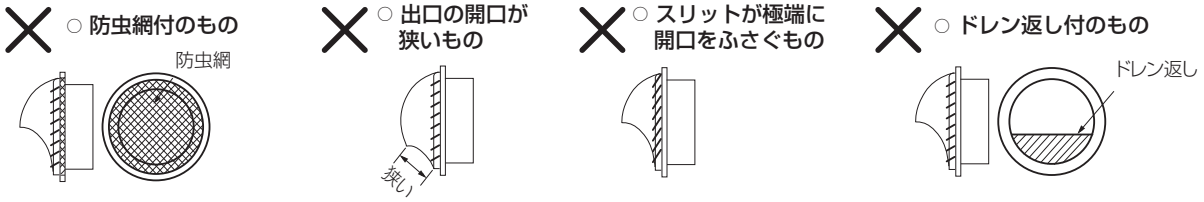
■エアコンなどによる横風の当たる場所には取り付けないでください。
横風の影響を受けると吸い込みが悪くなることがあります。

ご使用部品について

■パイプフード、ベントキャップは、排気抵抗の小さいもの（排気ダクト直管長さ25m相当以下）をご使用ください。
6ページの別売品をご確認ください。

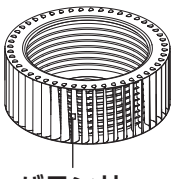
■接続するシャッターはそれぞれ5W以下のものを使用してください。
故障の原因となります。

■下記のパイプフード、ベントキャップは使用しないでください。



施工について

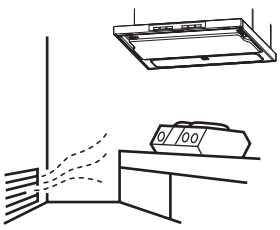
■ファンフィルターをはずした状態でモーターを回転させないでください。
回転数が上がり、モーターが焼きつくことがあります。



■レンジフード設置後、必ず「設置条件の初期設定」をおこなってください。
設置高さ、ガス、IHクッキングヒーターの設定をしてください。（裏表紙）設定しないままですと、エコナビ機能が正常に動作しません。

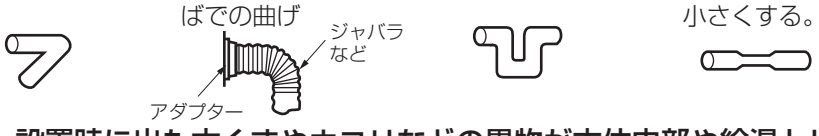
■ファンフィルターの回転バランスをとるためにバランサー（重り）が付いている場合がありますが、絶対にはずさないようにしてください。
異常や故障の原因となります。

■全体換気の必要な所は、他の換気扇との併用をおすすめします。



■空気の取り入れ口（給気口）を設けてください。
（開口面積100～150cm²が目安となります。）
給気電動シャッターを使わない場合は排気性能確保のため、空気の取り入れ口を設けてください。

■次のような配管工事はしないでください。
（吐出口のすぐそばで曲げると、シャッターが開かなくなり正しく排気されません）
（1）極端な曲げ　（2）吐出口のすぐそばでの曲げ　（3）多数回の曲げ　（4）接続ダクト径を小さくする。

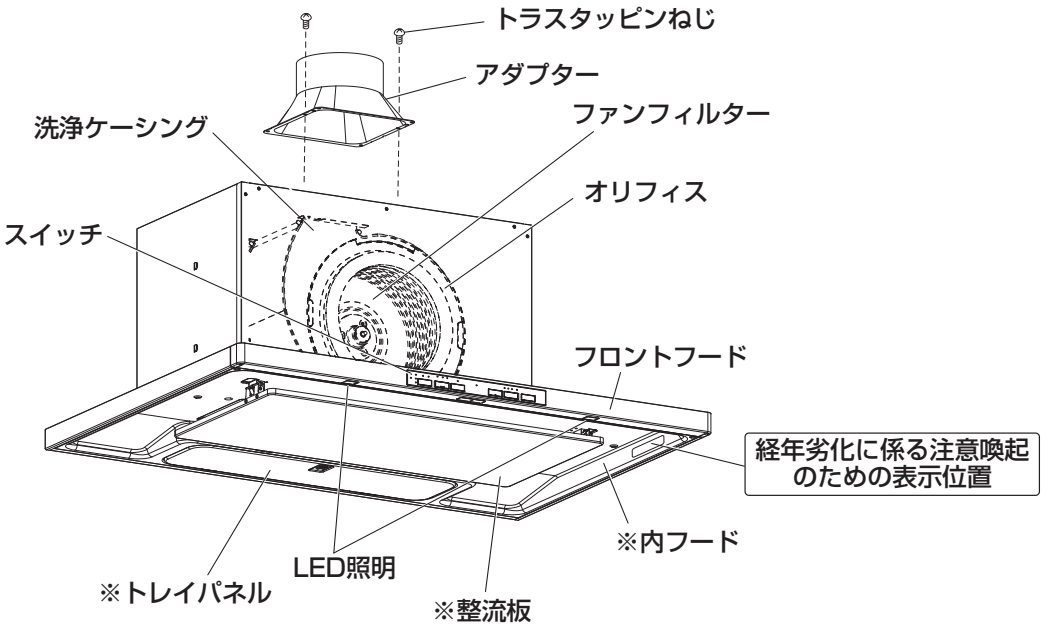


■取付・設置時に出た木くずやホコリなどの異物が本体内部や給湯トレイ、排水トレイの中に混入しないようにしてください。
故障の原因となります。

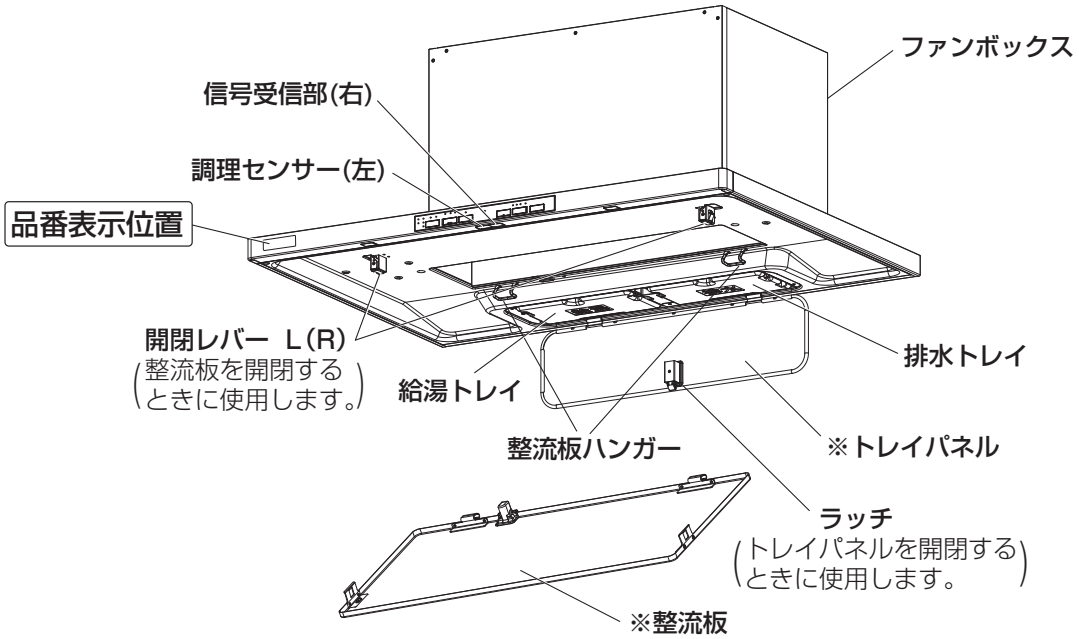
各部の名前　品番および経年劣化に係る注意喚起のための表示位置

お願い　品番をご確認ください。
（修理依頼などのアフターサービスをご利用の際に、品番が必要になります）

■斜視図



■整流板をはずし、トレイパネルを開いた状態



※印　はっ水塗装をおこなっています。

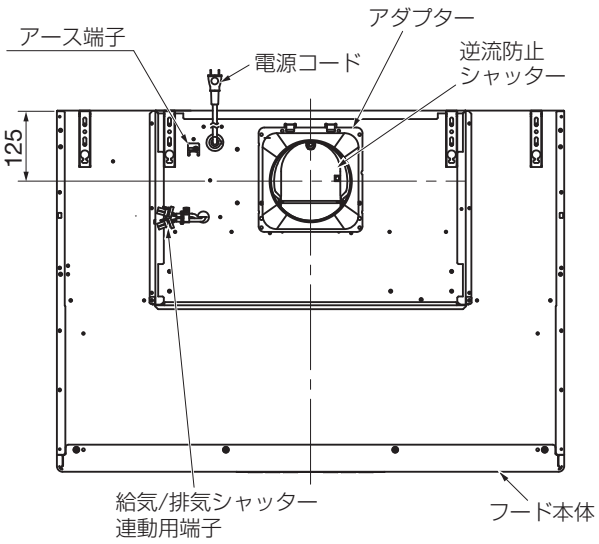
外形寸法図

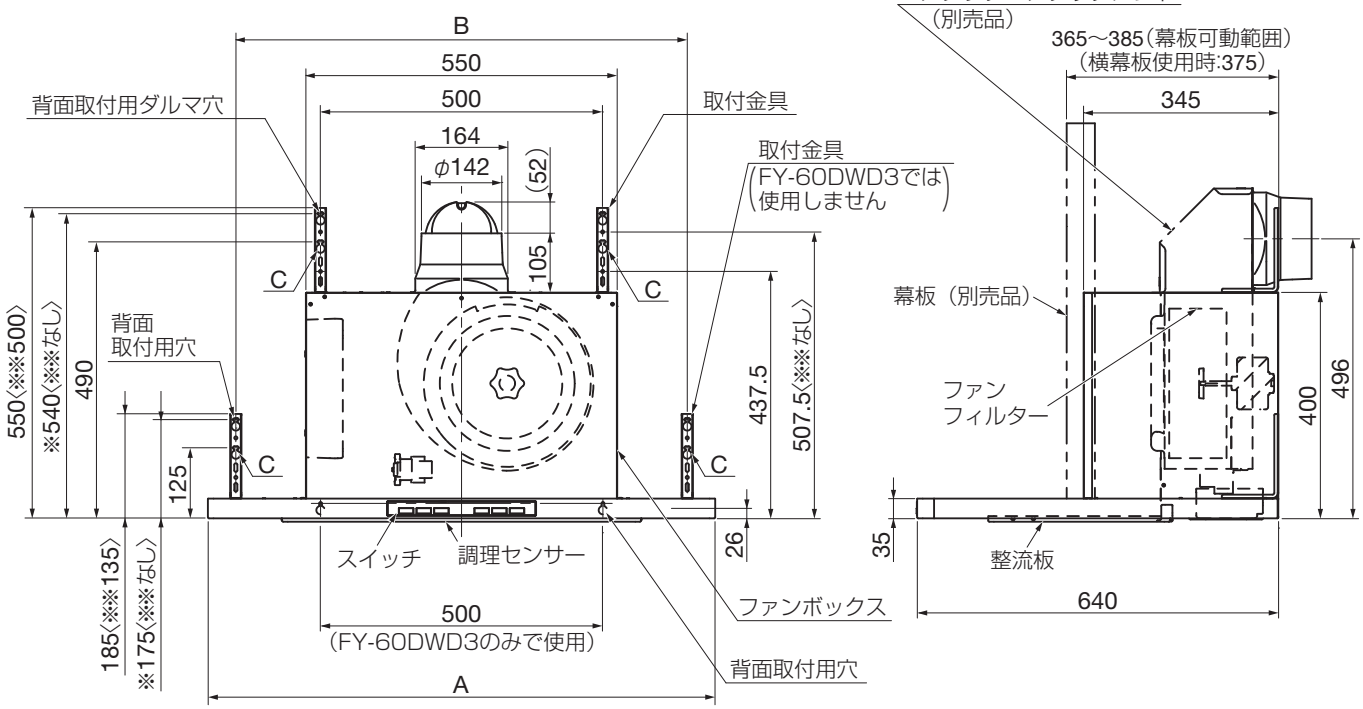
〔単位：mm〕

■接続ダクト（市販品）

呼び径	種　　類
φ150 (6番)	鋼板製スパイラルダクト

	A	B	質量（kg）
FY-60DWD3	599	——	18
FY-75DWD3	749	650	22
FY-90DWD3	899	800	23





C：背面取付用ダルマ穴

※ 部はリフォームなどでC部にねじが使用できない場合の補強用です。

※※部は天井が低いなど、取付金具がそのまま使用できない場合に向きを変えて使用する場合の寸法です。

付属品・別売品

お願い　この製品専用の付属品あるいは指定のもの（別売品）以外は使用しないでください。

付属品

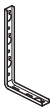
●**トラスタッピンねじ**（φ4×40L）……**6個**
（フード本体固定用）

●**トラスタッピンねじ**（φ4×14L）……**2個**
（L金具固定用）
（FY-75DWD3、FY-90DWD3のみ入っています）

●**トラスタッピンねじ**（φ4×8L）……**2個**
（アダプター固定用）

●**トラス転造ねじ**（M5×10L）……**4個**
（取付金具固定用）
（FY-75DWD3、FY-90DWD3は8個入り）

●**取付金具**（フード本体固定用）……**2個**
（FY-75DWD3、FY-90DWD3は4個入り）

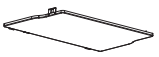


●**L金具**（フード本体調整用）……**2個**
（FY-75DWD3、FY-90DWD3のみ入っています）

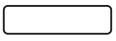
●**パッキングテープ**（ダクト接続用）……**1個**

●**アダプター** ……**1個**

●**整流板** ……**1個**
（FY-75DWD3、FY-90DWD3は形状が異なります）

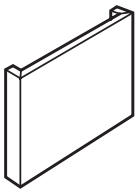


●**常時換気お願いラベル** ……**1枚**

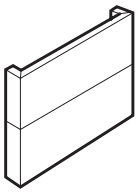


別売品　詳細についてはカタログを参照してください。

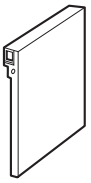
〔幕板〕



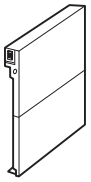
〔スライド幕板〕



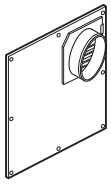
〔横幕板〕



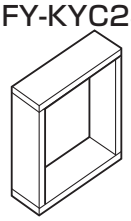
〔スライド横幕板〕



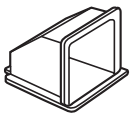
〔取付枠アダプター〕
（プロペラファンタイプから買い替える場合）
FY-AC256



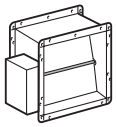
〔木枠用不燃カバー〕
（取付枠が可燃性の場合）
FY-KYC25



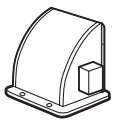
〔アダプターアタッチメント〕
FY-AS615



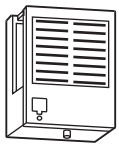
〔電動シャッター〕
FY-MSSJ06



〔電動シャッター付きアタッチメント〕
FY-AE605

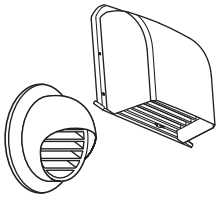


〔給気電動シャッター〕



〔給気電動シャッター連動用コード〕
（給気電動シャッターを使用される場合）
FY-WW001

〔パイプフード〕



〔ベントキャップ〕

ご販売店様にて事前準備してください。

●**ダクト（φ150）**
●**アルミテープ**
●**補強材**（現場により必要です。）

取り付け前に

1.施工に入る前に

1、養生シートなどで現場の床の保護をしてください。
2、必ず分電盤のブレーカーを切ってください。
3、既存のフードから取り替える場合は、設置されているフードを取りはずしてください。
※取りはずし方法は、現場の状況に合わせて対応してください。

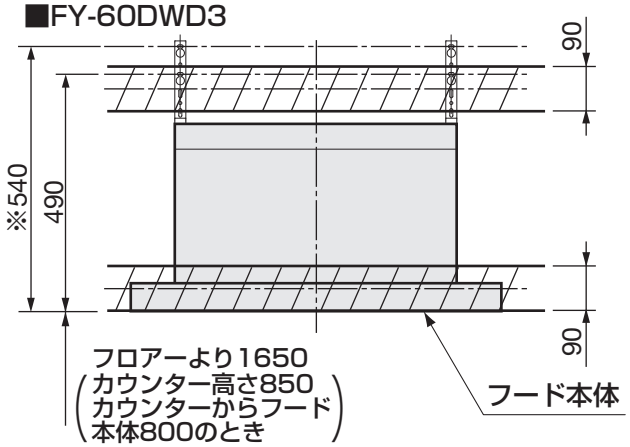
⚠ 注意

本体は、十分強度のあるところに水平にしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する
落下により、けがをするおそれがあります。

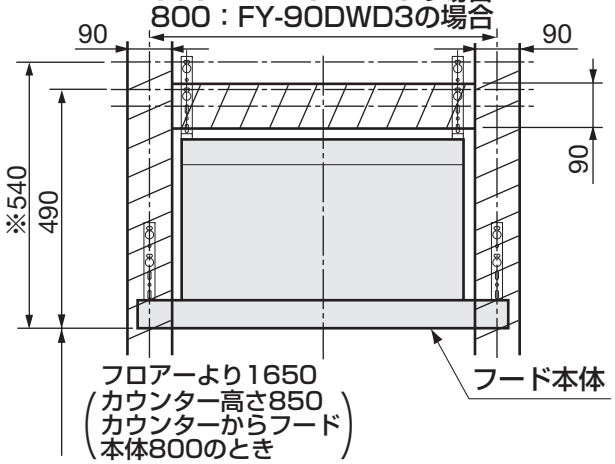
2.フード取り付け用桟工事の確認

1、フードの取り付け用桟は下図のようにあるかどうか確認します。〔単位：mm〕
（ガス調理機器、電気調理機器の真上、800mm以上の位置に取り付けてください）
※フード取り付け用桟がない場合は厚み30mm×幅90mm程度の補強材（できれば防虫処理したもの）にて補強をお願いします。

■FY-60DWD3



■FY-75DWD3、FY-90DWD3
650：FY-75DWD3の場合
800：FY-90DWD3の場合



※部はリフォームなどでフード本体から490mmにねじが使用できない場合に使用してください。

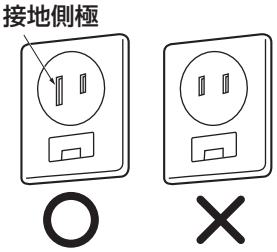
2、フードの質量は、600幅･･･18kg
750幅･･･22kg
900幅･･･23kg　です。
十分耐える取り付けをしてください。しっかり取り付けられていないと、騒音、振動の原因になります。

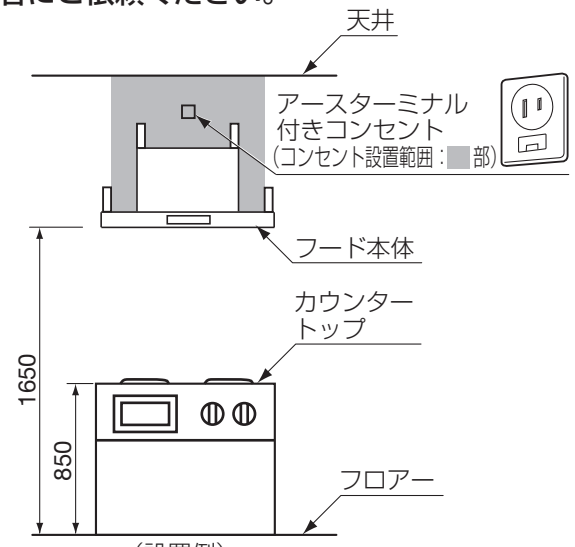
3、フードは、水準器を使用して水平に取り付けてください。（0.5度以下）傾いて取り付けますと、排水が流れないおそれがあります。

3.電気工事について

※電気工事は電気工事業者にご依頼ください。

1、電気工事のご注意
- ●本機はa.c.100V仕様です。
- ●右図に従ってアースターミナル付きコンセントを設置してください。
- ●アース工事を必ずおこなってください。
- ●屋内配線が正しいか極性確認をおこなってください。形状によっては使用できないコンセントがあります。下記をご確認ください。





（設置例）

2、漏電遮断器の設置について
万一の漏電事故時安全確保のために、漏電遮断器の設置をしてください。

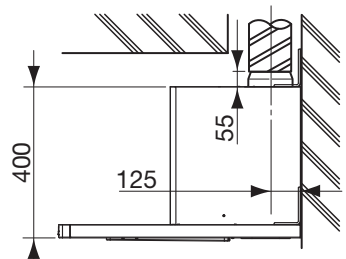
推奨漏電遮断器	住宅分電盤小形漏電ブレーカー 定格電流20A，感度電流15mA

取り付け前に（続き）

4.ダクト配管について

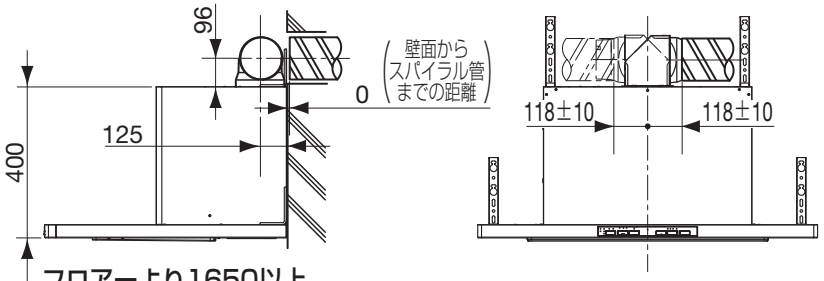
1、下図の吐出穴位置に壁穴をあけて上方排気の場合は、φ150スパイラル管を下図のような位置にセットして周囲を仕上げてください。
側方排気の場合は、レンジフード用アタッチメントを組み合わせたアダプターの位置にφ150のスパイラル管をセットして周囲を仕上げてください。

上方排気の場合



フロアーより1650以上
（カウンター高さ850のとき）

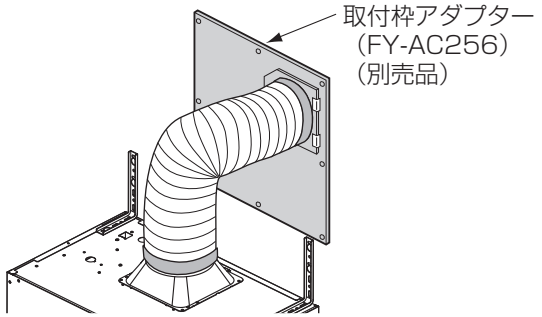
後方、右側、左側排気の場合



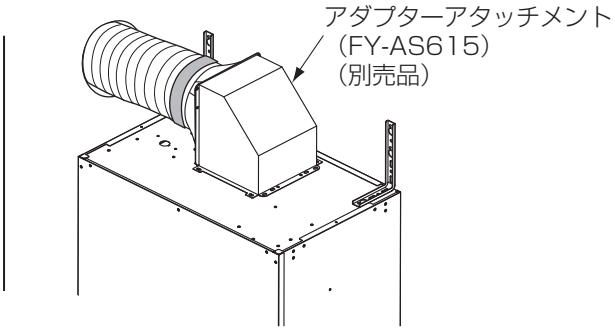
フロアーより1650以上
（カウンター高さ850のとき）

既存のフードから取り替える場合は、設置されていたフードのファンタイプ、既存のダクトの位置・方向により下図のように別売品を使用する場合があります。

■プロペラファンタイプ



■シロッコファンタイプ



※取付枠アダプターを使用する際は、取付枠アダプターに同梱の工事説明書を参照してください。

2、後方排気の場合は、下記数値以上の壁厚の所に本体を取り付けてください。

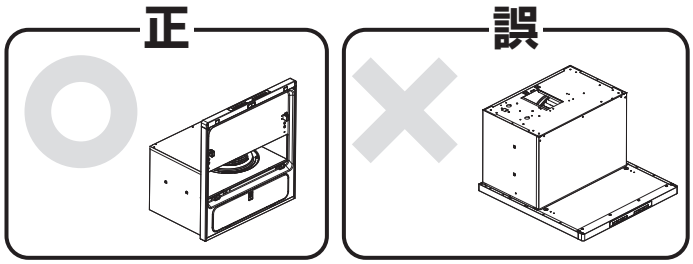
防火ダンパー付きパイプフード使用時	190mm以上
防火ダンパー無しパイプフード使用時	110mm以上

※使用するパイプフードによって数値が異なりますので、パイプフードののみ込み寸法を確認してください。
上記数値のパイプフードののみ込み寸法は、下記の通りです。
防火ダンパー付き：75mm
防火ダンパー無し：55mm
※壁厚が上記寸法未満の場合、アダプターのシャッターがパイプフードに当たり、完全に開かないことがあります。

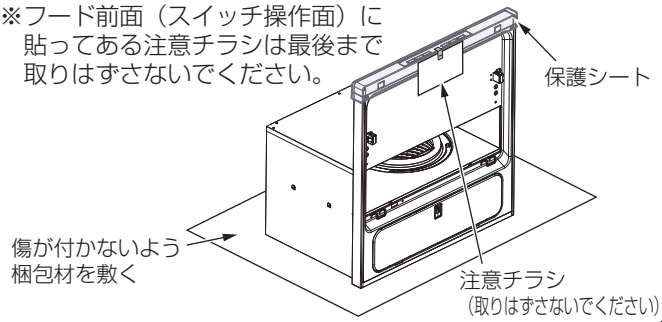
施工方法　以下の手順に従って施工してください。

1.フードの開梱

①本体を下図のように置いてください。
※誤った置きかたをしますと傷や破損の原因となります。



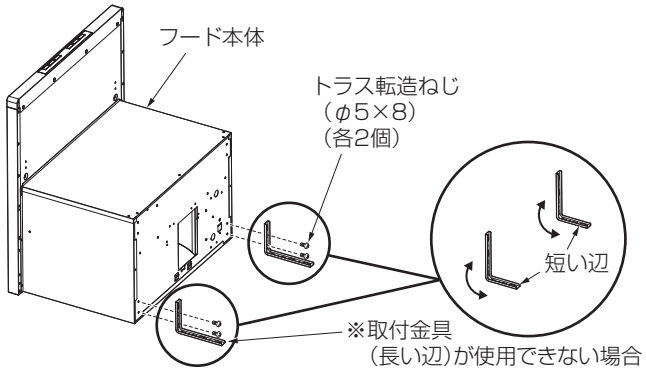
②レンジフード本体に傷がないか確認してください。
※フード前面（スイッチ操作面）に貼ってある注意チラシは最後まで取りはずさないでください。



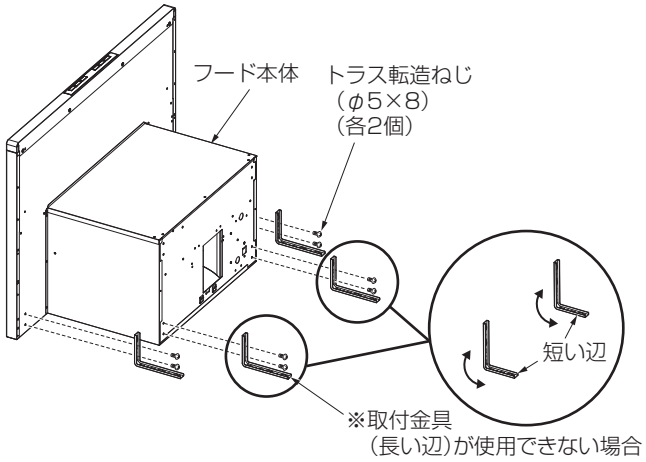
2.フード本体の取り付け

①取付金具をフード本体にトラス転造ねじ（φ5×8）（各2個）で固定する。
※天井が低く、取付金具(長い辺)が使用できない場合は、下図のように取付金具(短い辺)の向きを変えて使用してください。

■FY-60DWD3

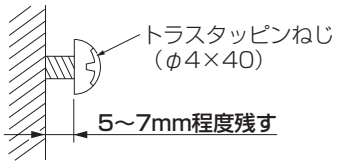


■FY-75DWD3、FY-90DWD3

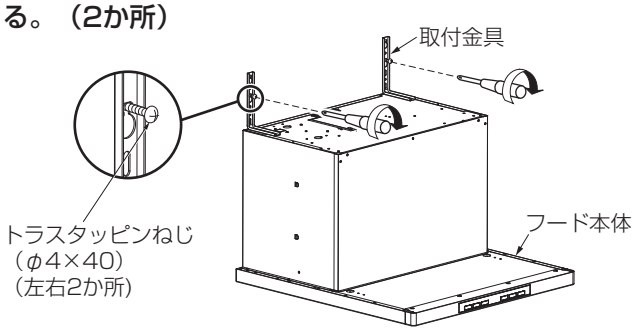


お願い
インパクトドライバー等を使わず、手回しドライバーにてねじをしっかりと締め付けてください。
目安としてトルクは2N・m（20kgf・cm）以下で締め付けてください。

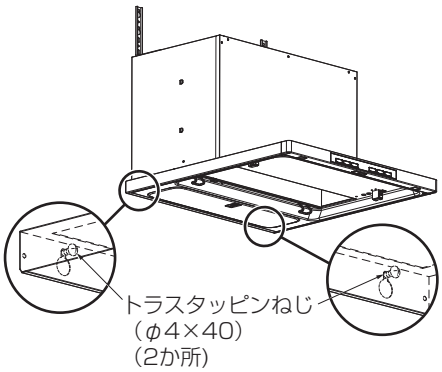
② 背面取付用ダルマ穴位置にトラスタッピンねじ（φ4×40）を仮止めする。
（FY-60DWD3は4か所、FY-75DWD3、FY-90DWD3は2か所）



③フード本体に固定した取付金具のダルマ穴を仮止めしたトラスタッピンねじ（φ4×40）に引っ掛け、締め付ける。（2か所）



※FY-60DWD3はフード本体のダルマ穴も壁に仮止めしたトラスタッピンねじ（φ4×40）に引っ掛けてください。

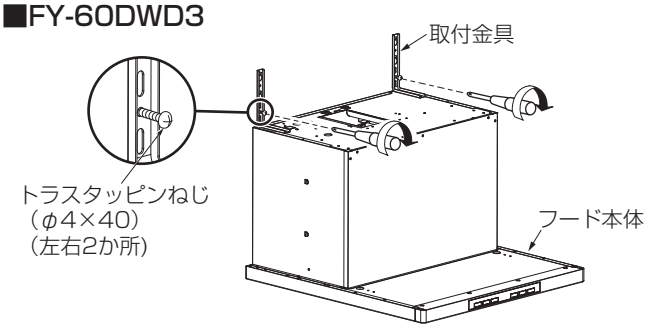


施工方法（続き）

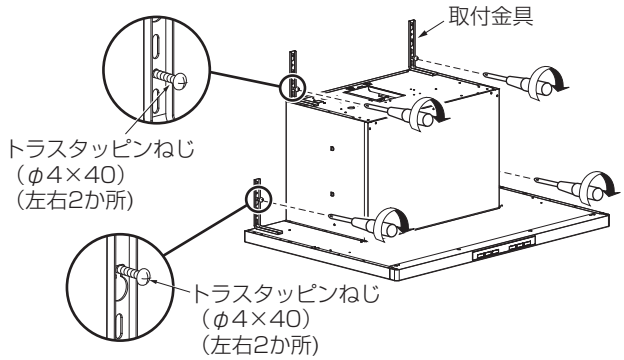
2.フード本体の取り付け（続き）

④トラスタッピンねじ（φ4×40）でフード本体を固定する。

■FY-60DWD3

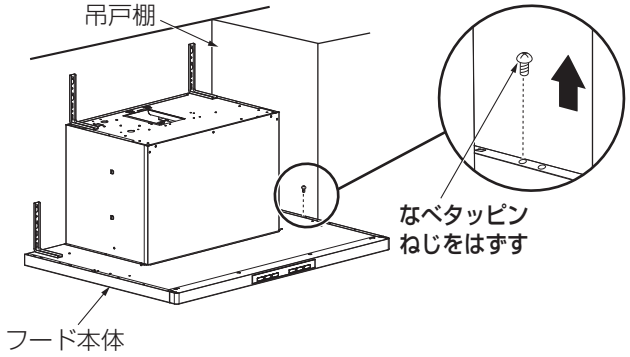


■FY-75DWD3、FY-90DWD3

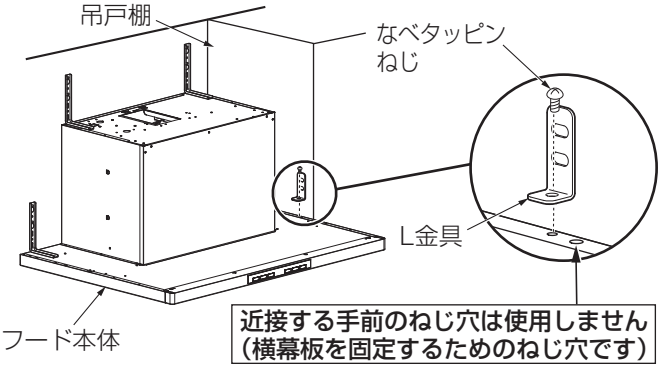


⑤ ⑤～⑦はFY-75DWD3、FY-90DWD3のみ

横幕板を設置しない側のフード本体に固定されているなべタッピンねじ（1個）をはずす。

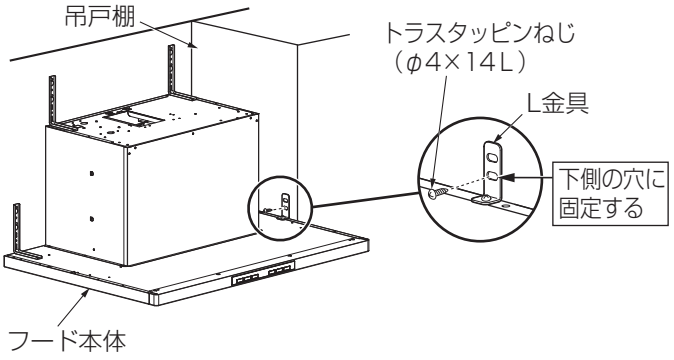


⑥L金具を⑤ではずしたなべタッピンねじでフード本体に固定する。



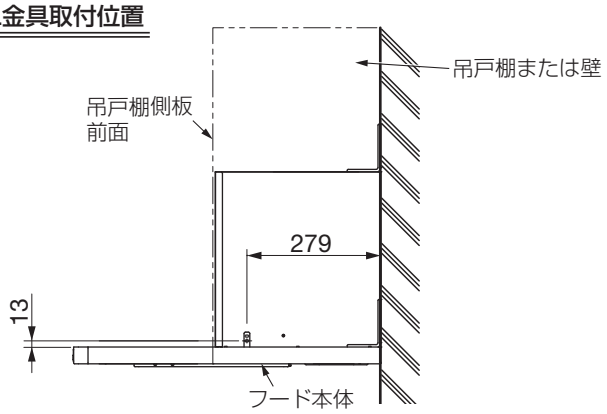
⑦トラスタッピンねじでL金具（下側の穴）を固定する。（L金具上側の穴は予備用）

※フード本体の下端と吊戸棚の下端が揃うようにフード本体を下から手で支えながら固定してください。
※吊戸棚や壁面とフード本体の間に大きなすき間がある場合は、無理に固定せずにフード本体の再設置をしてください。
（無理に固定するとレンジフードが変形して故障の原因になることがあります。）

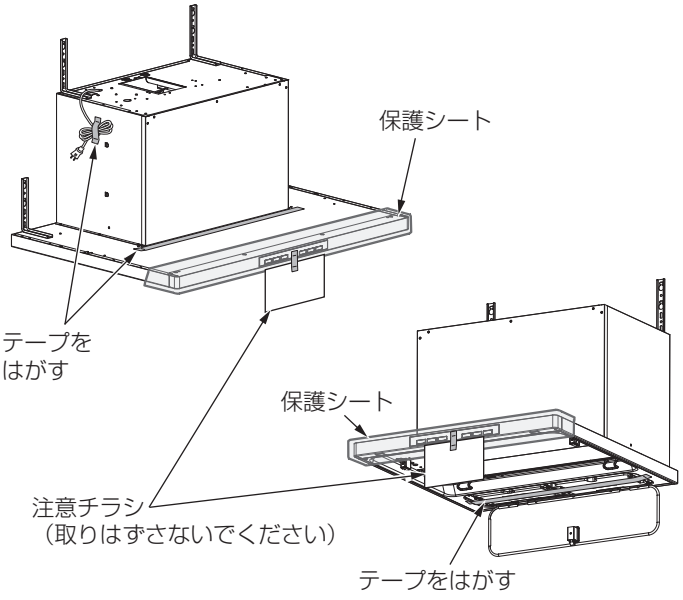


※壁面に固定する場合は、躯体の状態に適したねじを使用してください。（現地手配）

L金具取付位置



⑧レンジフード本体に取り付いているテープを取りはずす。
※フード前面（スイッチ操作面）に貼ってある注意チラシは最後まで取りはずさないでください。

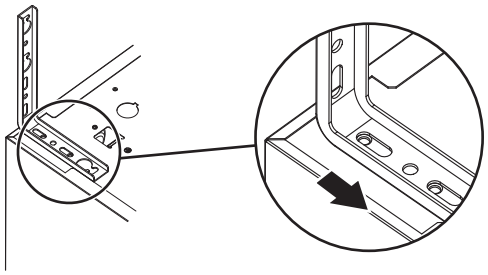


⚠ 注意

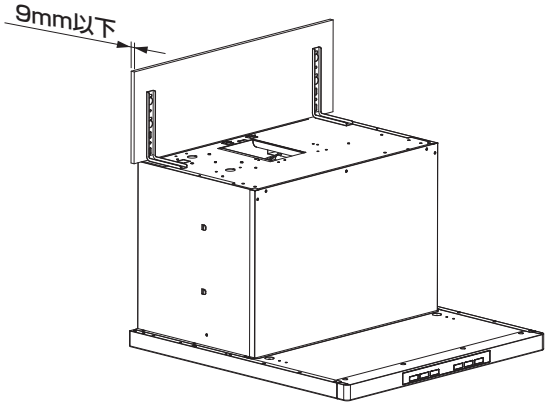
本体の水平度は、0.5度以内で設置する
排水が流れないおそれがあります。

※施工上、レンジフード背面と取付金具の背面に段差が生じた際にコンパネなどを使用する場合は厚み9mm以下を使用してください。

（1）取付金具（2か所）の位置を矢印の方向にコンパネなどの厚み分移動して固定する。



（2）②～⑧の手順でフード本体を固定する。

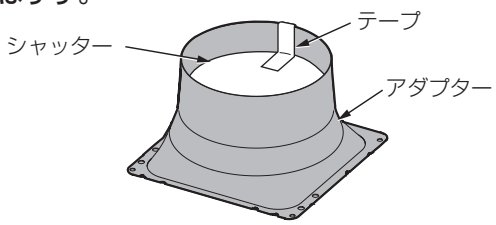


3.アダプターの取り付け

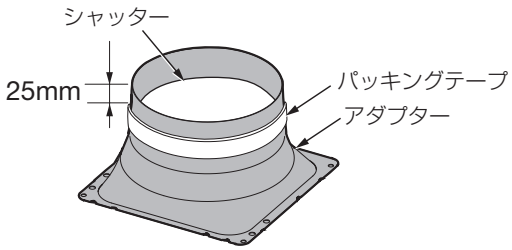
上方排気の場合

※現場によっては後方・側方排気に使用する場合もあります。

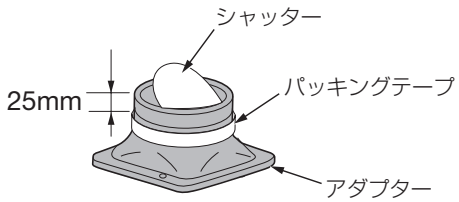
①アダプターのシャッターを固定しているテープをはずす。

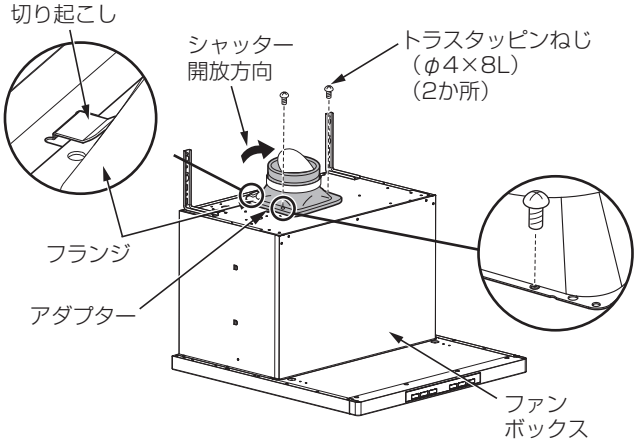


②アダプターにパッキングテープ(ダクト接続用)（付属品）を貼り付ける。



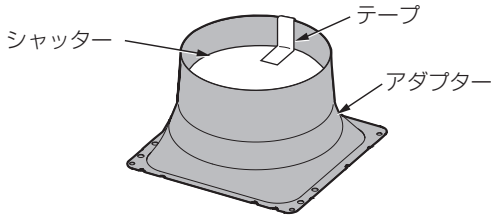
③アダプターのシャッターが下図の方向に開くようにファンボックスの切起こし(2か所)にアダプターを差し込み、トラスタッピンねじ(φ4×8)で固定する。(2か所)



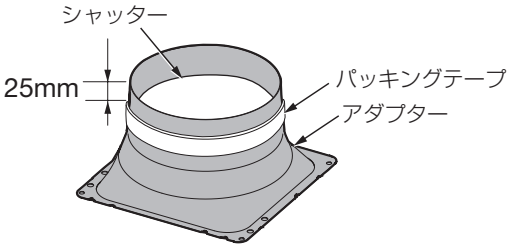


後方・側方排気の場合

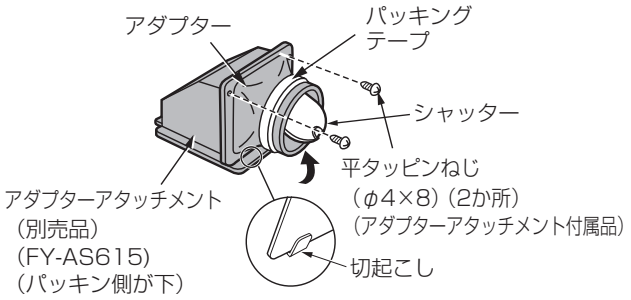
①アダプターのシャッターを固定しているテープをはずす。



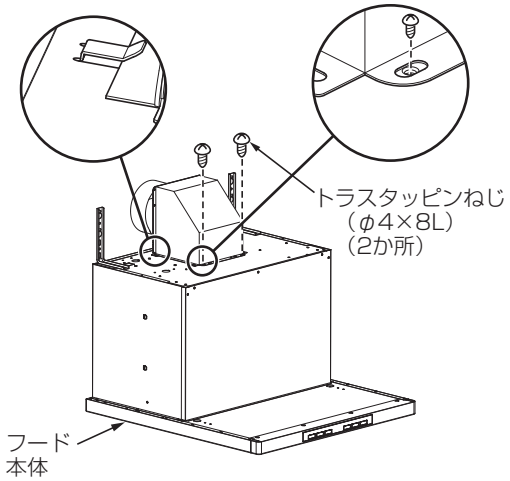
②アダプターにパッキングテープ(ダクト接続用)（付属品）を貼り付ける。



③アダプターのシャッターが下図の方向に開くようにアダプターアタッチメント(別売品)へアダプター下部を切り起こし(2か所)に差し込み、上部をアダプターアタッチメント付属の平タッピンねじ(φ4×8)で固定する。（2か所）



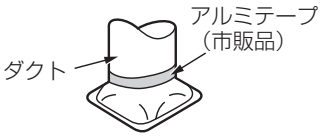
④アダプターアタッチメント（別売品）をファンボックスの切起こし（2か所）に差し込み、トラスタッピンねじ（φ4×8）で固定する。（2か所）



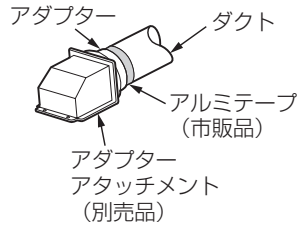
4.ダクトの接続

●アダプターとダクトを下図のように接続して、接続した部分にアルミテープ（市販品）を巻きつけ、空気もれを防ぐ。

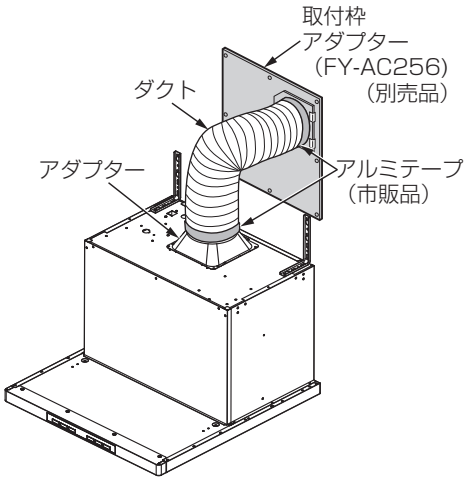
■上方排気の場合



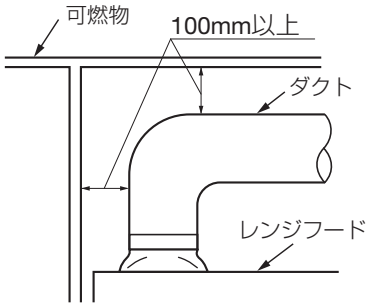
■後方・側方排気の場合



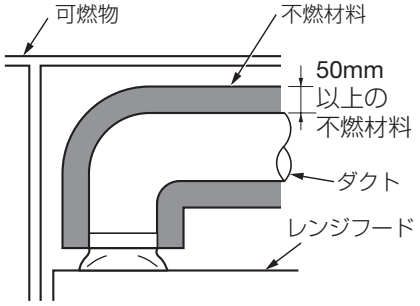
■プロペラファンタイプから取り替える場合



●ダクトと可燃物の距離は、100mm以上離す。
100mm以上離せない場合は、下記（A）または（B）の処理をする。



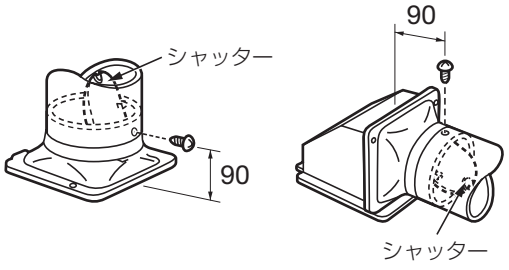
（A）5mm以上の不燃材料で可燃物を被覆し、かつ50mm以上離す。
（B）50mm以上の不燃材料でダクトを被覆する。



詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください。

お願い

ダクトをねじ止めする場合は、長さ10mm以下のねじ（市販品）を使用し、シャッター可動部にあたらないように固定してください。



5.電源の接続

⚠ 警告

D種接地工事をおこなう

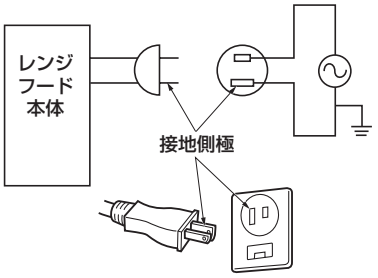
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

アース線接続

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

●万一の感電防止のため必ずファンボックス天面のアース端子を使用してアース接続工事をしてください。
●電源プラグをコンセントに差し込みます。
●屋内配線が正しいか極性確認をおこなってください。



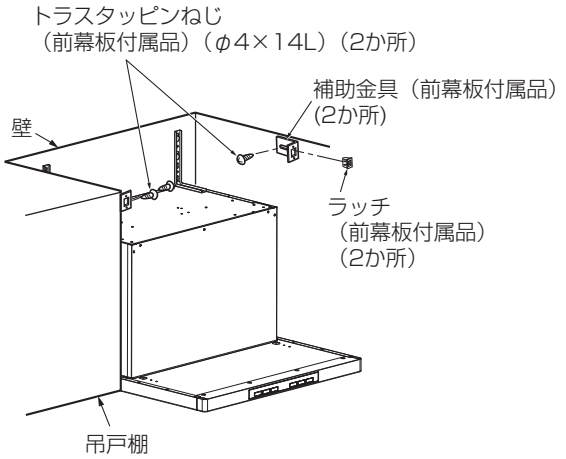
施工方法（続き）

6.幕板の取り付け

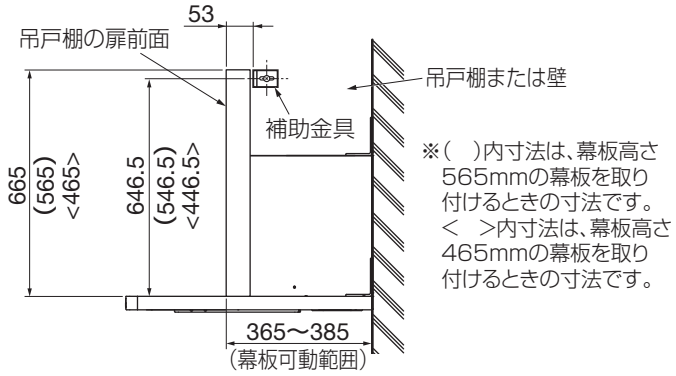
※スライド幕板、スライド横幕板を施工する際は、スライド幕板、スライド横幕板それぞれに同梱の工事説明書を参照してください。

横幕板を取り付けない場合

①補助金具にラッチを取り付け、左右の吊戸棚または壁にトラスタッピンねじ（φ4×14）で取り付ける。（左右2か所）



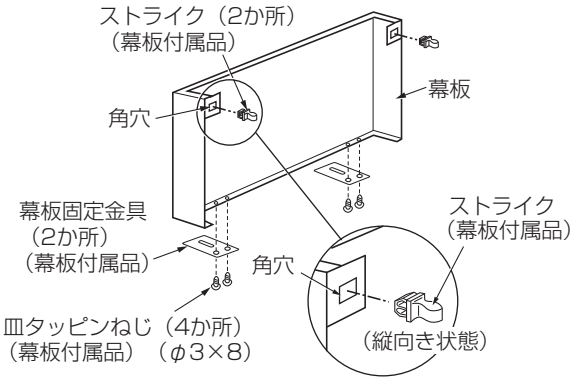
補助金具取付位置



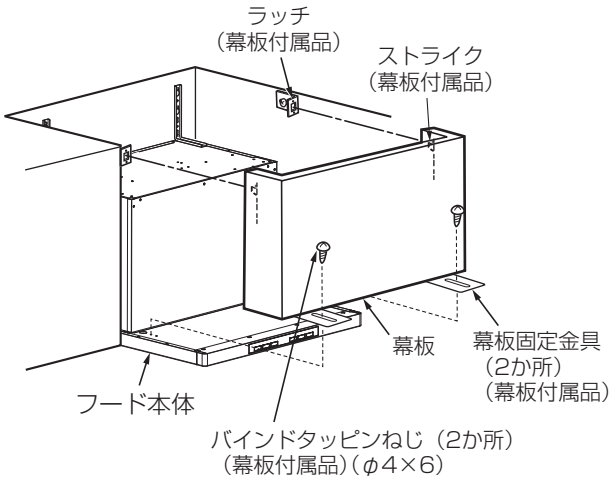
※（　）内寸法は、幕板高さ565mmの幕板を取り付けるときの寸法です。
＜　＞内寸法は、幕板高さ465mmの幕板を取り付けるときの寸法です。

②幕板表面の保護シートをはがす。

③幕板裏面の角穴にストライクを取り付ける。（ストライクは縦向きに取り付ける）
幕板下端に幕板固定金具（幕板付属品）をねじ止めする。



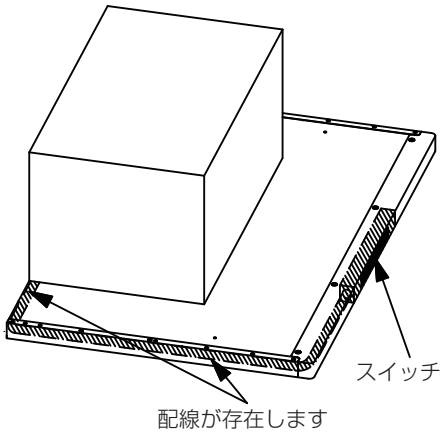
④幕板上部のストライクをラッチに差し込み（「パチン」と音がするまで）、フード本体上側より、幕板固定金具をねじ止めする。



⚠ 警告

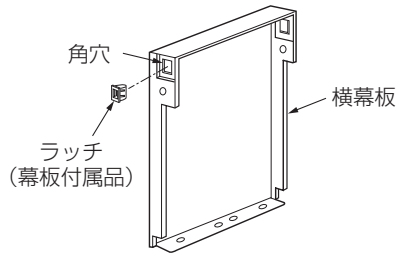
禁止

■指定穴以外へねじを固定しない
■指定以外のねじを使用しない
内部の配線を傷つけ、感電するおそれがあります。



横幕板を取り付ける場合

①横幕板の角穴にラッチを取り付ける。

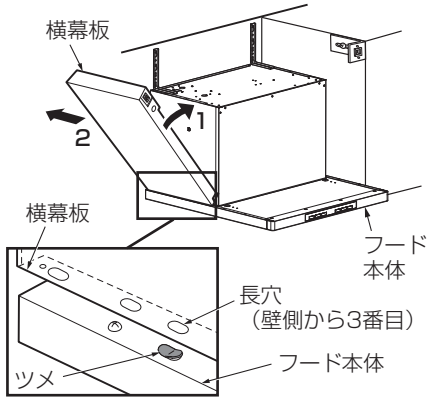


②横幕板をフード本体に固定する。

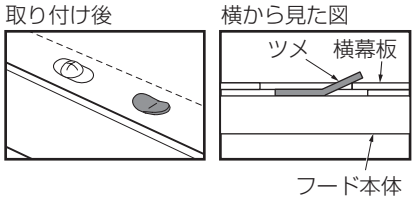
■FY-60DWD3

フード本体から出ているツメが横幕板下部の長穴に入るように、横幕板をフード本体に取り付ける。

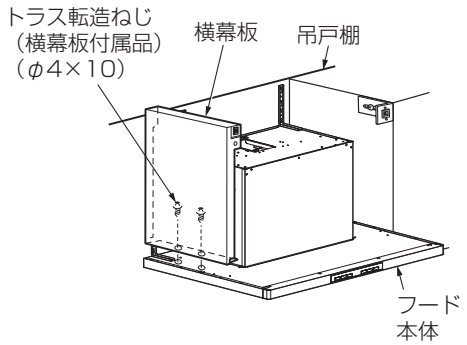
1.斜めに倒しながら長穴をツメに差し込むと、横幕板が取り付けやすくなります。



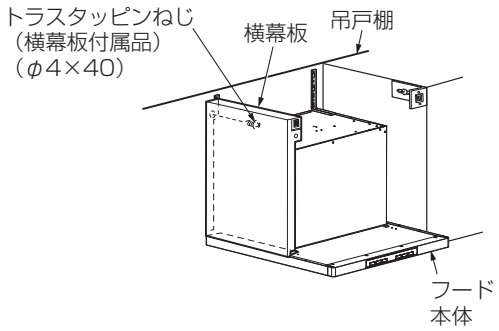
2.取り付けた後に横幕板を壁にあたるまで確実に押し込んでください。



■FY-75DWD3、FY-90DWD3

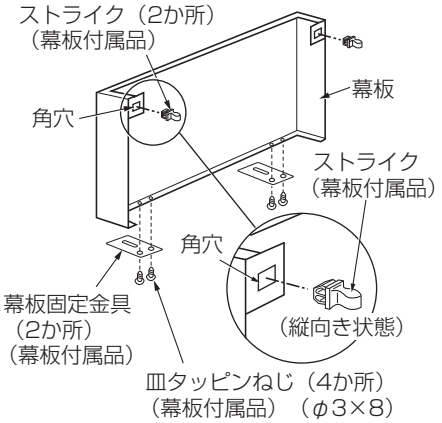


③横幕板を壁面に固定する。

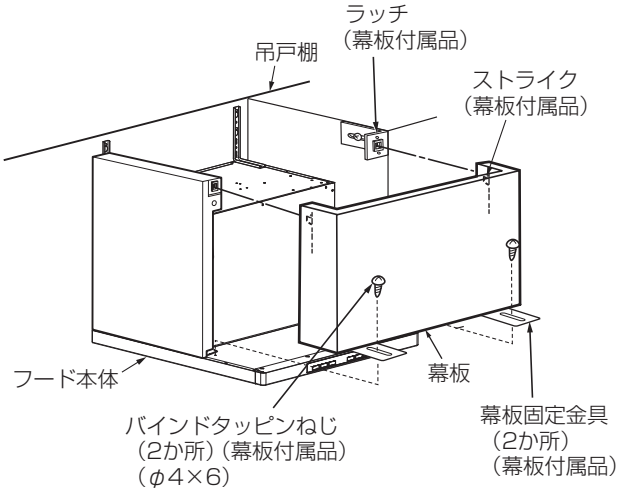


④幕板表面の保護シートをはがす。

⑤幕板裏面の角穴にストライクを取り付ける。
（ストライクは縦向きに取り付ける）
幕板下端に幕板固定金具（幕板付属品）をねじ止めする。



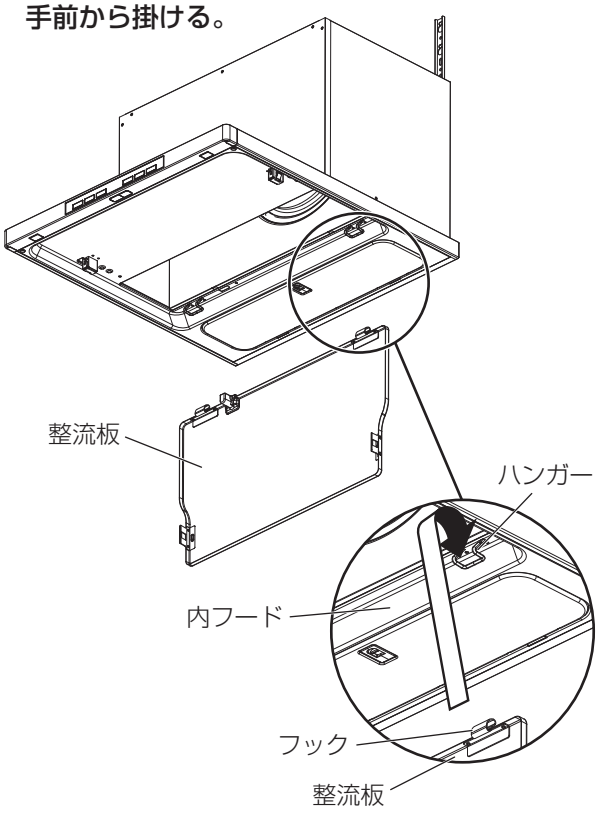
⑥幕板上部のストライクをラッチに差し込み（「パチン」と音がするまで）フード本体上側より、幕板固定金具をねじ止めする。



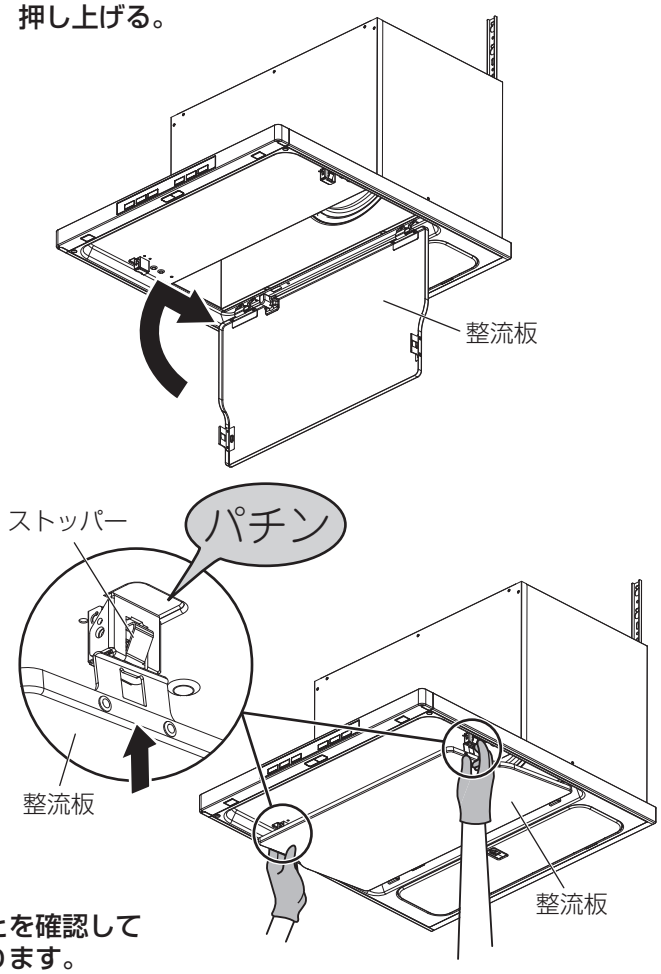
施工方法（続き）

7. 整流板の取り付け

①整流板を両手で持ち、
②整流板のフックを内フードのハンガーに
手前から掛ける。



③整流板を両手でおこして、奥まで押す。
④整流板金具の穴がストッパーにきちんとはまるまで
押し上げる。

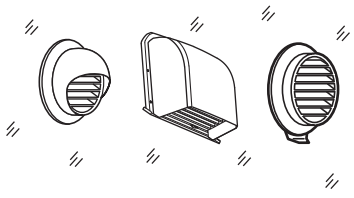


お願い

整流板金具の穴がストッパーに確実に差し込まれたことを確認して
ください。固定されていないと、落下するおそれがあります。

8. 外壁面の施工

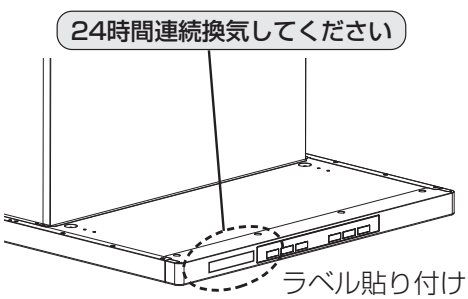
●外壁面には、パイプフードまたはベントキャップを現場にて調達し、
付属の工事説明書に従って取り付けてください。



9.常時換気お願いラベルの貼り付け

①フード前面の保護シートと注意チラシを
はがしてください。

②このレンジフードを常時換気設備として
使用する場合は、常時換気お願いラベル
をスイッチ付近に貼り付けてください。



※常時換気お願いラベルは付属品
の中に入っています。

※通常のレンジフードとしてご使
用される場合（常時換気をおこ
なわない場合）は、常時換気お
願いラベルは不要です。

10.設置条件の設定

①分電盤のブレーカーを「入」にしてください。

②裏表紙を参考に「設置条件の初期設定」を必ずおこなってください。
※「🔧」ランプと「ECONAVI」ランプが点滅しているときは初期設定が終わっていません。

お願い
正しく設定をおこなわないと、エコナビ機能が正常に動作しません。

11.動作確認

●本体操作スイッチでの動作を確認してください。
（操作スイッチと各動作については取扱説明書、クイックガイドを参照してください。）

本体側	チェック欄
常時	
弱	
中	
強	
照明 切/入	
切	
洗浄	

●コンロ連動システムとしてご使用の場合はコンロ側のスイッチでの動作も確認してください。

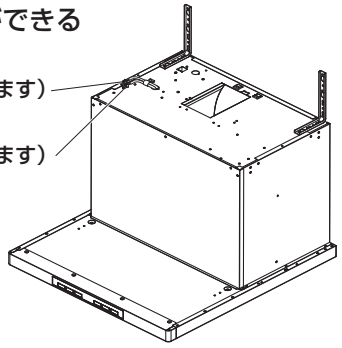
コンロ側		チェック欄
運転 入／風量	常時	
	弱	
	中	
	強	
照明 切/入		
運転 切		

お願い
●屋外の排気口から排気がおこなわれていることを確認してください。
異常な騒音、振動がないことを確認してください。
※エコナビ運転（エコナビランプ点灯）の場合、羽根はボタン操作後約5秒後に回りはじめます。
●ファンフィルター洗浄をし、異常や水漏れがないことを確認してください。
※給湯トレイや排水トレイの中に取付・設置時に出た木くずやホコリなどの異物が混入しないようにしてください。
●異常な騒音・振動がないことを確認してください。
●本体の「切」、コンロ側の「運転切」は、2回押すと運転が停止します。
●本体操作スイッチの「切」ボタンを3秒以上押し続けるとロック状態となり、本体操作スイッチおよびリモコンスイッチの操作を受け付けなくなります。ロックを解除するには、再度本体操作スイッチの「切」ボタンを3秒以上押し続けてください。

施工方法（続き）

電動シャッター（別売品）を取り付ける場合

本レンジフードには、運転に連動させてシャッターを開閉することができる連動用信号線がついています。



※給気シャッターは、弱・中・強運転からの停止操作後、約10秒後に閉じるように設計されています。

運転モード	常時	弱	中	強	エコナビ運転	ファンフィルター洗浄
給気電動シャッター用出力（給気用）	出力無し	a.c.100V	a.c.100V	a.c.100V	a.c.100V	出力無し
電動シャッター用出力（排気用）	a.c.100V	a.c.100V	a.c.100V	a.c.100V	a.c.100V	a.c.100V

●接続は「電気設備技術基準」や「内線規程」に従って確実に接続してください。
●シャッターの取付・設置は、各種シャッターに付属の工事説明書にもとづき確実におこなってください。

⚠ 警告

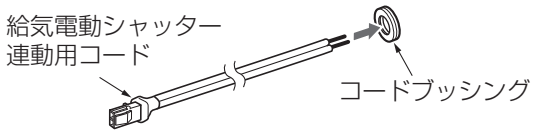
給気電動シャッター連動用コード、電動シャッター連動用コードはアダプター、排気ダクトと離して固定する

火災など重大な事故の原因となります。詳しくは所轄の消防署（庁）に問い合わせてください。

取り付け前に

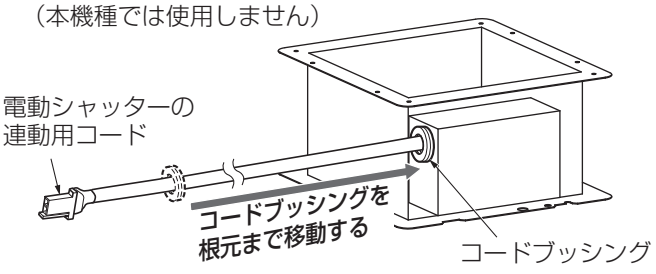
●給気電動シャッター連動用コード

「給気電動シャッター連動用コード」からコードブッシングを**取りはずしてください。**
（本機種では使用しません）

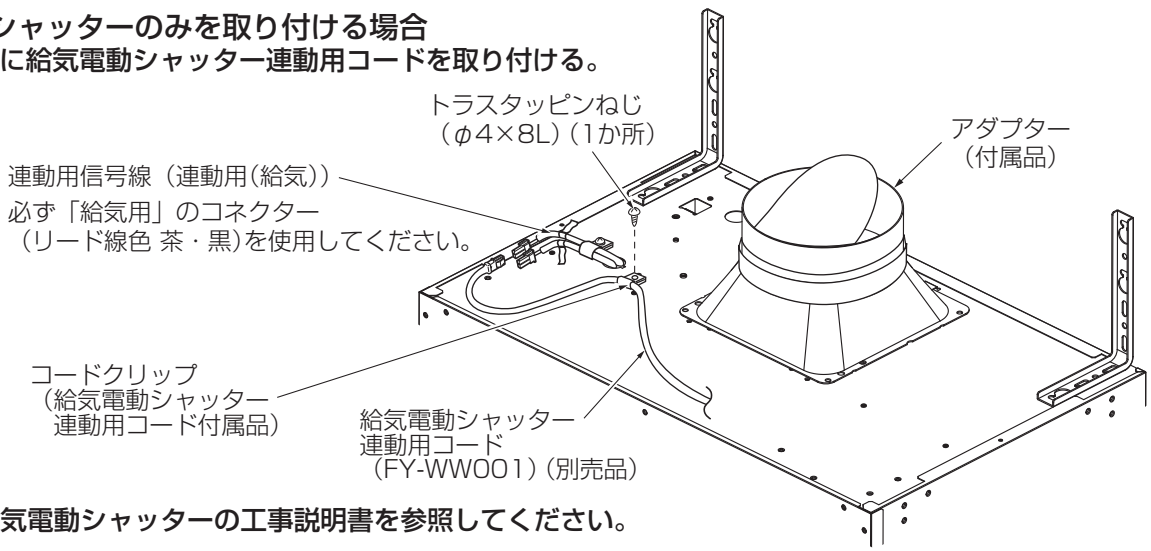


●電動シャッターの連動用コード

「電動シャッターの連動用コード」のコードブッシングを**連動用コードの根元まで移動してください。**
（本機種では使用しません）



A.給気電動シャッターのみを取り付ける場合
右図のように給気電動シャッター連動用コードを取り付ける。

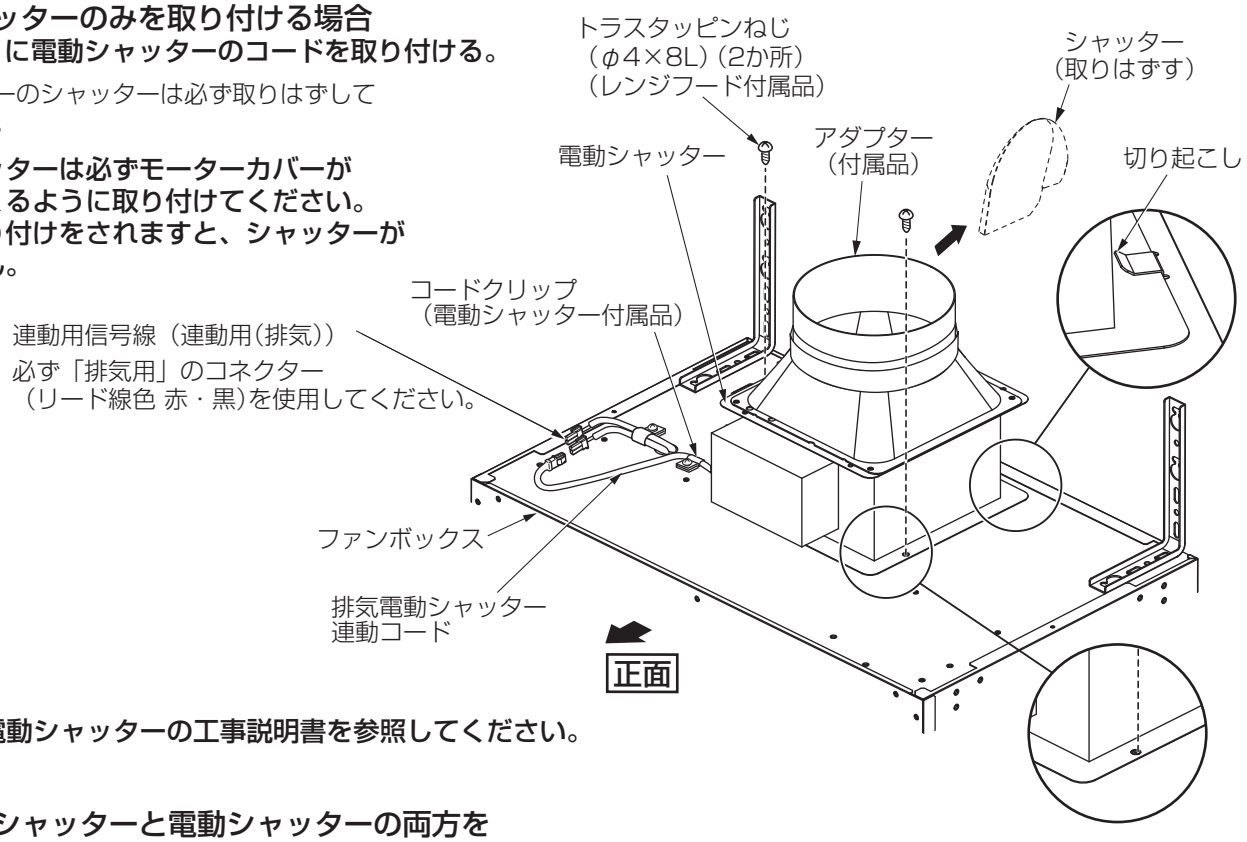


※詳細は給気電動シャッターの工事説明書を参照してください。

B.電動シャッターのみを取り付ける場合
右図のように電動シャッターのコードを取り付ける。

※アダプターのシャッターは必ず取りはずしてください。

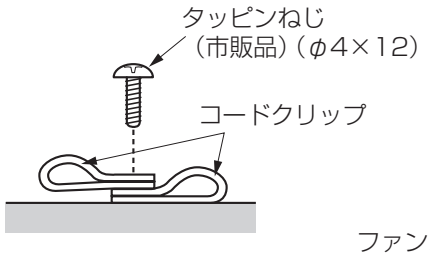
電動シャッターは必ずモーターカバーが正面側にくるように取り付けてください。誤った取り付けをされますと、シャッターが開きません。

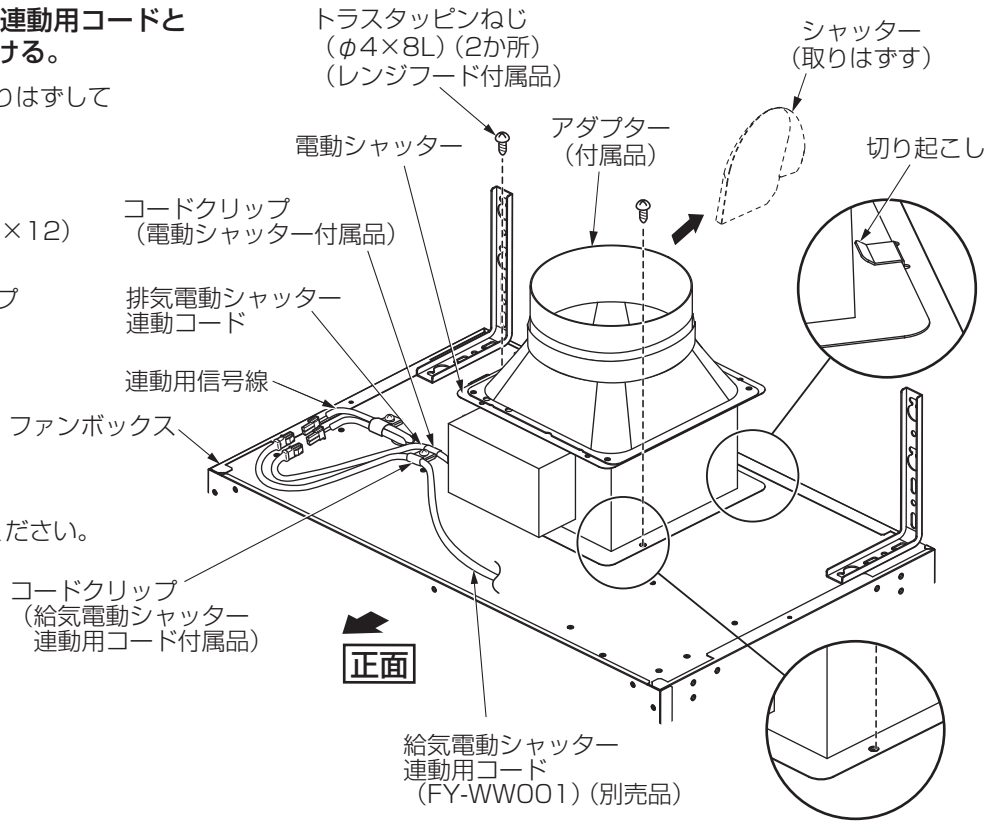


※詳細は電動シャッターの工事説明書を参照してください。

C.給気電動シャッターと電動シャッターの両方を取り付ける場合
右図のように給気電動シャッター連動用コードと電動シャッターのコードを取り付ける。

※アダプターのシャッターは必ず取りはずしてください。





※給気用と排気用のコネクターをまちがえないよう十分注意してください。

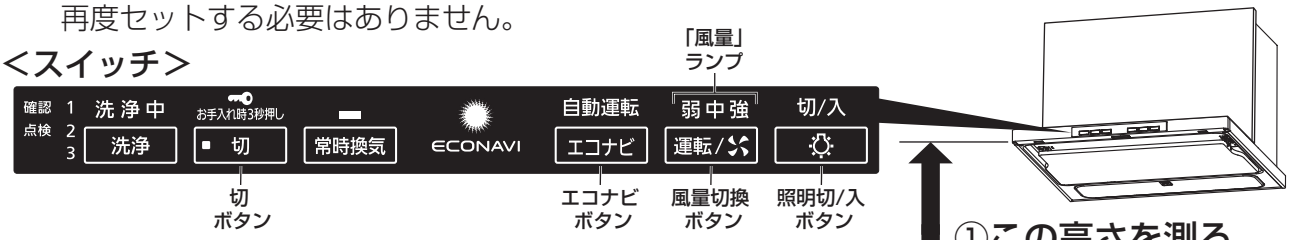
※給気電動シャッターは、弱・中・強運転からの停止操作後、約5秒後に閉じるように設計されています。
※詳細は給気電動シャッターの工事説明書および電動シャッターの工事説明書を参照してください。

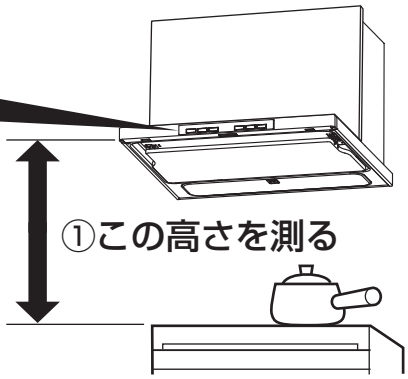
設置条件の初期設定

本レンジフードは、正しくお使いいただくために初期設定が必要です。
レンジフード設置後、下記に従い必ず初期設定をおこなってください。
正しく設定されないとエコナビ機能が正常に動作しません。

※「 」ランプと「 ECONAVI 」ランプ（緑）が点滅しているときは、初期設定がされていません。
下記に従い設定をおこなってください。設定が終了するとランプは消灯します。
電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときでも設定は記憶されています。
再度セットする必要はありません。

＜スイッチ＞





① レンジフードの下端と調理機器上部（鍋を置くところ）の距離を測る。
（右図参照）

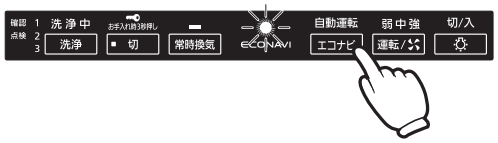
② 切 を3秒以上押してスイッチ操作をロックする。
（「ピピ」と音がして、「 」ランプが点灯します）

③ を押しながら、運転/ を3秒以上押す。
（「ピピ」と音がして設定しているランプ（「 ECONAVI 」、「風量」ランプ）が点灯します）

④ エコナビ を押して使用調理機器の種類を選択する。

使用調理機器	「 ECONAVI 」ランプ
IHクッキングヒーター	点灯
ガスコンロ	点滅

（ランプ切り換わり時に「ピ」と音がします）



⑤ 運転/ を押して①で測った距離を設定する。
（ランプが「弱」→「中」→「強」→「弱・中・強」と切り換わり、都度「ピ」と音がします）

距離（mm）	ランプ点灯状態
800～849	**弱** 点灯
850～899	**中** 点灯
900～949	**強** 点灯
950～1000	**弱中強** 点灯

⑥ 切 を押して設定を終了する。
（「ピー」と音がしてランプがすべて消灯します）

パナソニック株式会社
パナソニック エコシステムズ株式会社
〒486-8522　愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番　TEL(0568)81-1511

© Panasonic Ecology Systems Co., Ltd. 2013

6DWD34201A-P0813-1083